

新型コロナウイルス対応で
歳出高止まり

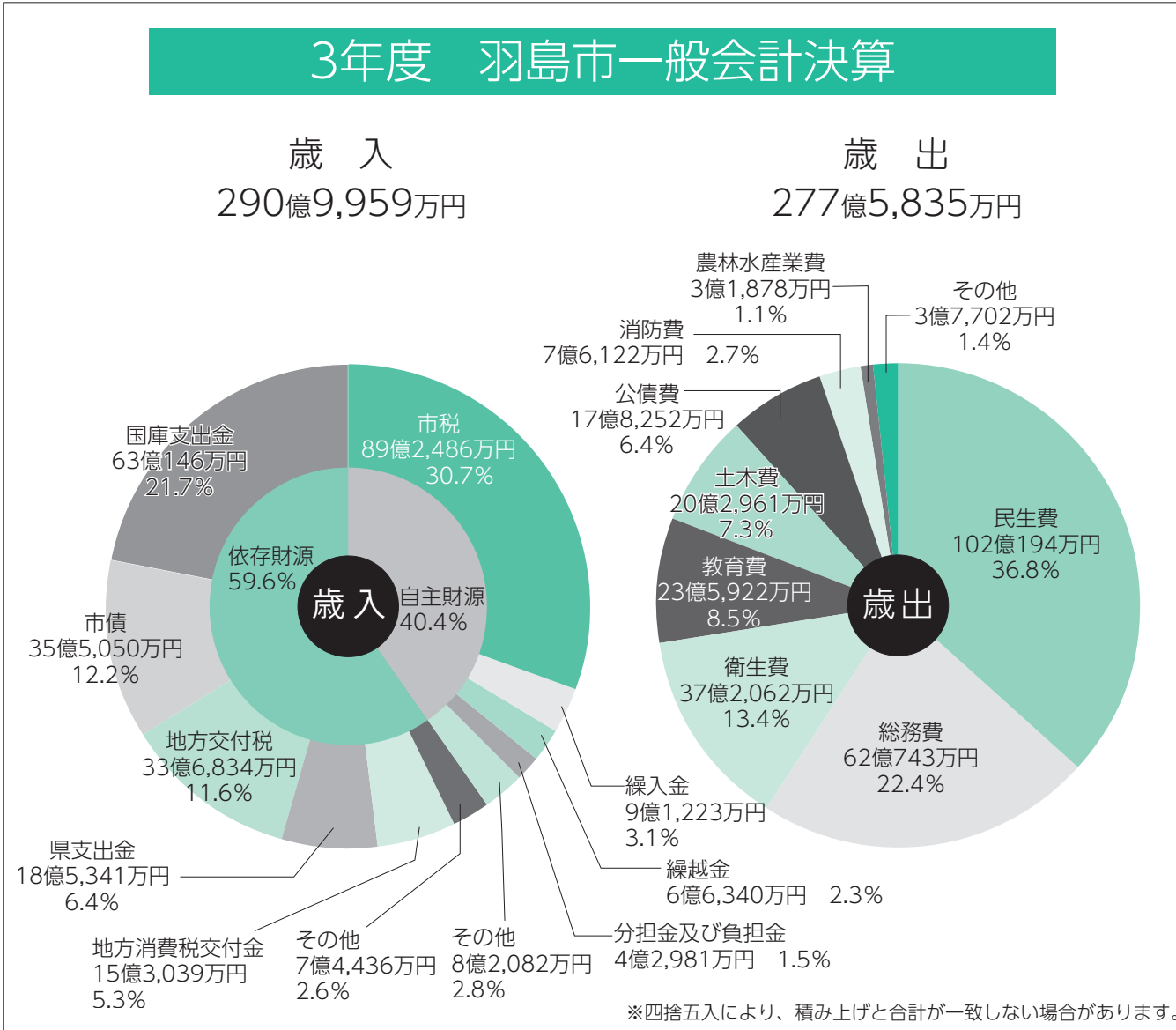
歳入

一般会計

令和3年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が市議会にて認定されました。決算状況のあらましをお知らせします。
問い合わせ先
財務課（内線 2180）

会計別歳入歳出決算

会計別		歳入（収入済額）	歳出（支出済額）
一般会計		290億9,959万円	277億5,835万円
特別会計	国民健康保険	75億6,234万円	67億3,355万円
	介護保険	55億5,797万円	53億7,923万円
	羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業	2,353万円	2,353万円
	インター北土地区画整理事業	6,378万円	3,250万円
	駅北本郷土地区画整理事業	6,098万円	3,649万円
	後期高齢者医療	8億6,580万円	8億4,803万円
企業会計	病院事業	収益的収支	58億273万円 / 58億2,246万円
		資本的収支	6億6,692万円 / 8億9,027万円
	水道事業	収益的収支	8億7,527万円 / 5億6,944万円
		資本的収支	2億1,112万円 / 5億9,330万円
	下水道事業	収益的収支	15億1,697万円 / 14億3,275万円
		資本的収支	8億4,830万円 / 15億1,353万円



歳入

歳入全体の決算額は290億9959万円で、前年度と比べて23億3789万円、約7.4%減少しました。
歳入には、地方公共団体が自主的に収入することができ、市税や手数料などの自主財源と、国や県から交付される依存財源があります。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保することができます。
3年度の歳入決算額に占める自主財源の割合は、前年度より3.7ポイント高い40.4%となりました。これは、依存財源である国庫支出金の減少によるものです。

歳出

歳出の決算額は277億5835万円で、前年度と比べて30億1572万円、9.8%の減少となりました。
内訳は、保健医療や福祉等の民生費が36.8%と最も比率が高く、約102億円を支出しています。次いで総務費が22.4%、衛生費が13.4%を占めています。
民生費は特別定額給付金給付事業の終了により、前年度と比べて52億1211万円減少しています。
借金の返済額である公債費は、前年度と比べて1億3656万円増加しています。

市民1人当たりの負担

市民1人当たりの市税の負担は13万3366円でした。前年度と比べて3729円の負担減となっています。

市債残高の状況

3年度一般会計決算での市債残高（借金の残高）は、約215億円で、前年度と比べて約18億円増加しました。主な要因は、新庁舎の建設によるものです。

経常収支比率（一般会計）

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの経常的な収入に対し、人件費や扶助費などの経常的な支出が占める割合のことです。財政の弾力性を示す指標です。この指標が低いほど財政の弾力性があり、自治体独自の施策に充てる財源が多くなると言えます。

特別会計

特別会計のうち、国民健康保険は保険給付費の増などにより、歳出が前年度に比べて3億3585万円（5.2%）増加しました。また、介護保険は、介護給付費の増などから、前年度より歳出が1億7091万円（3.3%）増加しました。

企業会計

独立採算が原則の企業会計には病院事業、水道事業、下水道事業があります。下水道事業は、新型コロナウイルス感染症の対応などに伴い地域医療への貢献を続けながら、451万円の経常利益を計上しました。

